

# 日点委通信

No. 14

1998年11月1日発行

ご あ い さ つ

会長 阿佐 博

点字表記研究組織に関わりをもつようになってから40年になります。昭和30年、「日本点字研究会（日点研）」が組織されたとき、常任委員の末席に加えていただいたのが最初でした。日点研は鳥居篤治郎先生のご指導の下に数々の業積を残しましたが、盲学校中心の組織だったために、昭和41年に発展的に解消し、現在の「日本点字委員会（日点委）」に移行されることになりました。点字表記の統一ということが盛んに言われていたころのことで、日点委を我が国における点字表記法決定の唯一の機関と位置づけ、点字関係者の間で、「この委員会の決定をみんなで尊重しよう」という紳士協定のようなものができての船出でした。その日点委の歴史もすでに30年余を数え、当時の人々の多くが第一線を退かれ、世代交替のときが来ていることを思わされています。

私は3代日本間一夫会長のあとを受けて、平成2年に4代目として就任させていただきました。あたかも我が国の点字制定100周年に当たる記念すべきときでした。爾来2期8年、私も高齢になりましたし今回は新しい方をと願っていたのですが、総会のご意思を受けてもう1期だけ務めさせていただくことになりました。

日点委の当面の課題として古文や漢文の表記法を定めたり、数学・理科の暫定改訂案を決定したりすることなどがあります。それらは2002年度から実施される新改訂に基づく点字教科書に間に合わせなくてはなりません。その他にも懸案の「試験問題点訳の手引」も発行の運びとなっていますし、「表記法1990年版」の小規模改訂を要望する声なども出始めています。

これらの諸事情は日点委委員をはじめ多くの方々のご協力をいただかなくては推進できるものではありません。私は点字を視覚障害者のもつ一大文化であると認識して仕事を進めたいと思っています。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

## 日本点字委員会総会報告

日本点字委員会は、1998年5月16日・17日の両日、岐阜市の視覚障害者生活情報センターぎふ及びホテルせいらんにおいて、第34回総会を開催し次の事項を協議した。

### 1 委員・役員等の改選について

1998年は委員等の改選の年に当たり、盲教育界代表委員は1997年度の全日本盲学校教育研究会奈良大会において、盲人社会福祉界代表委員は日本盲人社会福祉施設協議会の視覚障害者情報提供施設部会及び点字出版部会において、また、学識経験委員は、第34回総会に先立って開催された両界代表委員協議会において、それぞれ次のとおり選出され、2002年までの4年間第8期委員としての任務に当たることとなった。

盲教育界代表委員は、小野祥一郎（福島県立盲学校）・金子昭（神奈川県立平塚盲学校）・木村眞智子（静岡県立浜松盲学校）・塩谷治（筑波大学附属盲学校）・泰磨俊樹（滋賀県立盲学校）・秦彰文（京都府立盲学校）・米島芳文（石川県立盲学校）の7名である。

盲人社会福祉界代表委員は、岩井和彦（日本ライトハウス点字情報技術センター）・高橋秀夫（桜雲会）・高橋秀治（カトリック点字図書館出版部）・田中徹二（日本点字図書館）・藤野克己（視覚障害者生活情報センターぎふ）・水谷吉文（天理教点字文庫）・渡辺昭一（京都ライトハウス点字出版部）の7名である。

また、学識経験委員は、阿佐博（東京ヘレン・ケラー協会点字出版局）・加藤俊和（日本ライトハウス）・木塚泰弘（国立特殊教育総合研究所）・小林一弘（日本社会事業大学）・坂本俊二（全国盲学校長会）・直居鉄（白梅学園短期大学）・宮村健二（あんしん堂鍼灸院）・村谷昌弘（日本盲人会連合）の8名である。

今回の総会において、これらの委員の互選により、会長には阿佐博が、副会長には木塚泰弘と小林一弘が、事務局長には直居鉄が、会計監査には塩谷治と高橋秀治が、それぞれ選出された。また、事務局員には、植村信也（日本点字図書館）・窪田和代（日本ライトハウス点字情報技術センター）・当山啓（日本点字図書館）・仲村和子（名古屋ライトハウス名古屋盲人情報文化センター点字出版所）・原田早苗（筑波大学附属盲学校）の5名が阿佐会長から委嘱された。

### 2 点字科学記号専門委員会からの報告及び提案

木塚泰弘委員長から、点字科学記号専門委員会が、点字数学記号・点字理科記号・

情報処理用点字記号の統一と点字・墨字の相互変換用記号の体系化をめざして検討を重ねてきた経過についての報告があり、2002年度から使用される盲学校用点字教科書の作成に当たって、当面改訂しておいた方が望ましい点字記号についての暫定改訂案が提案され、承認された。

### 3 古文及び漢文の点字表記について

原田早苗事務局員から「古文の点字表記に関する試案」、塩谷治委員からは「漢文の点字表記に関する考察」の提案があり、協議の結果その方向性が承認された。今年度の「日本の点字」等で公表し広く意見を聴取して、次年度の第35回総会において最終決定をすることとした。

### 4 医学用語の切れ続きについて

宮村健二委員から「医学用語の点字表記に関する検討(1) — 語頭に2拍以下の成分がある複合名詞の切れ続き —」についての提案があり、『日本点字表記法 1990年版』の第3章第2節の「自立語内部の切れ続き」の規則をふまえて協議した。

### 5 複合名詞等の切れ続きについて

渡辺昭一委員から「2拍以下の名詞成分(漢字1字の和語・漢語)プラス『3拍以上の自立可能な意味の成分』の構造を持つ複合名詞の切れ続きについて(中間報告)」(近畿点字研究会)、東海点字研究会の鈴木敏之氏からは「動植物名の点字表記についての提案」、小野祥一郎委員及び福島県点訳グループ連絡会の加藤三保子氏からは「漢字4字の漢語の切れ続きについての検討」、金子昭委員からは「〈なくなる〉の分かち書きについて」それぞれ提案や報告・発表が行われ、『日本点字表記法 1990年版』の第3章第1節の「文の単位と分かち書き」及び第2節の「自立語内部の切れ続き」の規則をふまえて協議した。

### 6 万国音標文字に対応する点字表記について

近畿点字研究会の久部幸次郎氏から「言語学における点字記号表記について」と題する音声記号(万国音標文字)の点字表記についての試案が提案され、協議した。

#### 『日本の点字 第24号』の内容について

『日本の点字 第24号』は、「古文の点字表記について(案)」「漢文の点字表記について(案)」「点字数学・理科記号の暫定改訂案について」などを中心に編集作業をしています。発行は1998年3月を予定しています。

頒 布 図 書 案 内

注文先・日本点字図書館用具事業部（消費税がかかります）

1. 『日本点字表記法 1990年版』（墨字版） 1000円（送料310円）
2. 『点字数学記号解説』（墨字版） 600円（送料180円）
3. 『点字理科記号解説』（墨字版） 改訂中
4. 『日本の点字100年の歩み』（墨字版） 500円（送料180円）

（郵便振替 00150-8-44522）

注文先・日本点字図書館出版事業部（消費税はかかりません）

1. 『日本点字表記法 1990年版』（点字版） 5100円（送料無料）

（郵便振替 00190-9-750672）

注文先・日本点字委員会事務局

- |                                         | （点 字 版）     | （墨 字 版）      |
|-----------------------------------------|-------------|--------------|
| 1. 『点字数学記号解説』                           | 1200円（送料無料） |              |
| 『点字数学記号解説別冊』                            | 3800円（送料無料） |              |
| 2. 『点字理科記号解説』                           | 1200円（送料無料） |              |
| 3. 『日本の点字100年の歩み』                       | 700円（送料無料）  |              |
| 4. 『統一英語点字コードプロジェクト文書コード(英語点字)の拡張・中間報告』 | 1500円（送料無料） | 500円（送料180円） |
| 5. 『統一英語点字コード研究プロジェクト文書コードの拡張・最終報告』     | 3000円（送料無料） | 750円（送料240円） |
| 6. 『日本の点字 第9号』                          | 300円（送料無料）  | 300円（送料180円） |
| 7. 『日本の点字 第11号』                         | 400円（送料無料）  | 400円（送料180円） |
| 8. 『日本の点字 第12号』                         | 400円（送料無料）  | 400円（送料180円） |
| 9. 『日本の点字 第13号』                         | 500円（送料無料）  | 500円（送料180円） |
| 10. 『日本の点字 第16号』                        | 500円（送料無料）  | 500円（送料180円） |
| 11. 『日本の点字 第17号』                        | 600円（送料無料）  | 600円（送料180円） |
| 12. 『日本の点字 第18号』                        | 500円（送料無料）  | 500円（送料180円） |
| 13. 『日本の点字 第19号』                        | 500円（送料無料）  | 500円（送料180円） |
| 14. 『日本の点字 第20号』                        | 500円（送料無料）  | 500円（送料180円） |
| 15. 『日本の点字 第21号』                        | 500円（送料無料）  | 500円（送料180円） |
| （情報処理用点字表記に関する報告 試験問題の点字表記 他）           |             |              |
| 16. 『日本の点字 第22号』                        | 600円（送料無料）  | 600円（送料180円） |
| （座談会「今、点字表記の課題はこれだ！」他）                  |             |              |
| 17. 『日本の点字 第23号』                        | 500円（送料無料）  | 500円（送料180円） |
| （『意味』と『拍』 「点字のサイズと手触り」他）                |             |              |

墨字版の送料は冊数が多くなれば割安になりますのでお問い合わせください。

〒169-8586 東京都新宿区高田馬場1丁目23番4号 電話 東京03(3209)0671  
日本点字図書館内 日本点字委員会事務局 （郵便振替 00100-1-42820）